

## 月例杯競技要項

### 1. 競技方法

#### 1 8ホールズストロークプレー

##### <Aクラス>

ハンディキャップインデックス 16.0 まで

バックティー使用

##### <Bクラス>

インデックス 16.0 までのレギュラーティー使用者（60 歳以上であること）

インデックス 16.1 以上、及びフロントティー・レディース全員

70 歳以上フロントティー使用可（但しハンディキャップ-4）

レディースティー使用はハンディキャップ-2

### 2. 競技の条件（この条件の違反は次のホールに 2 打罰）

#### ①ホールとホールの間での練習禁止

ホールとホールの間では、プレーヤーは最後にプレーしたホールのパッティンググリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならないし、球を転がすことによって最後にプレーしたホールのパッティンググリーン面をテストしてはならない。

#### ②スタート後の打球練習場及びアプローチ練習場の使用禁止

### 3. 競技規則

① 修理地は、青杭又は白線をもって標示する。

② レッドペナルティーエリアは赤杭又は赤線をもってその境界を標示する。

③ インコース 1 3・1 4 番ホールの縞杭は、適用外とする。

④ 排水溝は動かさない障害物とする。

⑤ 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。

⑥ 元電磁誘導カート用の 3 本のコンクリート軌道は全幅をもって動かさない障害物とみなす。

⑦ スプリンクラーが、パッティンググリーンから 2 クラブレングス以内にあり、球からも 2 クラブレングスの範囲内で、しかも球とホールの中のプレーの線上にかかっているときは、プレーヤーは動かさない障害物として救済を受けることができる。

⑧ 規則 6-6 d 例外は以下の通り修正される。

どのホールであっても、競技者がスコアカードを提出する前には罰を受けていたことを知らずに 1 打または複数の罰打を含めなかったために、真実より少ないスコアを提出していた場合、その競技者は競技失格とはならない。このような状況では、その競技者は該当する規則に規定されている罰を受けるが、規則 6-6 d に違反したことに対する追加の罰はない。

該当する罰が競技失格である場合にはこの例外は適用しない。

⑨ 本ローカルルールに記載されていない事項はすべて JGA 競技規則による。

### 3. 順位の決定

同ネットの場合ハンディ上位、同ハンディの場合年齢順とする。